

第7次豊川市総合計画策定のための
企業アンケート調査報告書

豊川市
令和6年12月

目 次

1. 調査概要.....	3
(1) 調査目的.....	3
(2) 調査方法.....	3
(3) 配付・回収結果.....	3
(4) 調査結果の見方.....	3
2. 調査結果.....	4
I. 会社・事業所について.....	4
(1) 会社・事業所について.....	4
II. 今後の事業展望について.....	7
(1) 近年の業績.....	7
(2) 今後の業績の見通し.....	7
(3) 会社・事業所における経営課題.....	8
(4) 立地場所としての豊川市の評価.....	9
III. 多様な人材の雇用について.....	10
(1) 若者に就職先として選ばれるために必要な取組.....	10
(2) 若者に就職先として選ばれるために必要な取組で行政に期待すること.....	11
(3) ライフステージを踏まえた働き方の希望を叶えるために必要な取組.....	12
(4) ライフステージを踏まえた働き方の希望を叶えるために必要な取組で行政に期待すること.....	13
(5) 高齢従業員が生きがいをもって働き続けるために必要な取組.....	14
(6) 高齢従業員が生きがいをもって働き続けるために必要な取組で行政に期待すること.....	15
(7) 多様な人材が活躍するための取組.....	16
IV. 仕事と家庭の両立支援の取組について.....	17
(1) 従業員の仕事と子育ての両立のための支援.....	17
(2) 従業員の仕事と介護の両立のための支援.....	18
(3) 働きやすい職場づくりにおいて支障となること.....	19
(4) 働きやすい職場づくりにおいて行政に期待すること.....	20
V. 豊川市の取組への期待について.....	21
(1) 地域社会・経済活性化のための豊川市の取組の重要度.....	21
VI. 公民連携の取組について.....	27
(1) 地域社会・経済活性化のための豊川市の取組の重要度.....	27
(2) 社会貢献活動における課題.....	28
VIII. その他、市のまちづくりについての意見・提案について.....	29
(1) 魅力あるまちづくりに向けた意見・提案.....	29
3. 調査票等.....	30

1. 調査概要

(1) 調査目的

第7次豊川市総合計画の策定にあたり、市内に立地する企業の現状や課題、今後の行政施策へ期待すること等を把握するため、アンケートを実施した。

(2) 調査方法

ア 調査対象

市内に事業所を有する企業のうち、市内の事業所の従業員数 10 人以上の企業から無作為抽出した 400 社

イ 調査期間

令和6年7月下旬～令和6年8月30日

ウ 調査方法

郵送配付・郵送回収とWEB回答を併用

(3) 配付・回収結果

配付数	400 件
回収数	157 件 (郵送 79 件、WEB 78 件)
回収率	39.3%

(4) 調査結果の見方

- ・ 基数となるべき実数 (n) は、設問に対する回収数を表す。
- ・ 集計した数値 (%) は、小数第 2 位を四捨五入しているため、回答の選択肢が一つだけの設問は、各選択肢の数値 (%) をすべて合計しても 100%にならないことがある。
- ・ 回答数を分母として数値 (%) を計算しているため、複数回答が可能な設問は、各選択肢の数値 (%) を合計すると 100%を超えることがある。

2. 調査結果

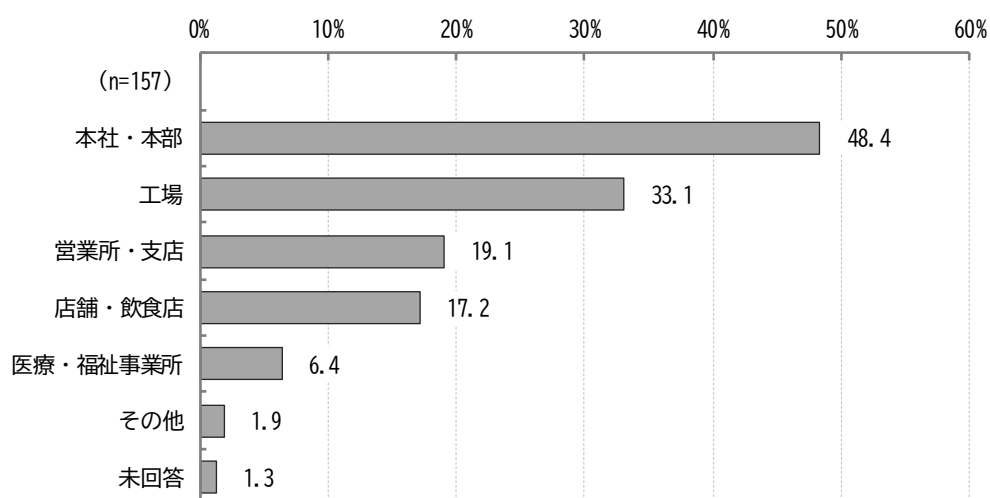
I. 会社・事業所について

(1) 会社・事業所について

問1 貴社・事業所についてお伺いします。(主な事業所のタイプは2つまで○印、主な業種以降はそれぞれ1つに○印)

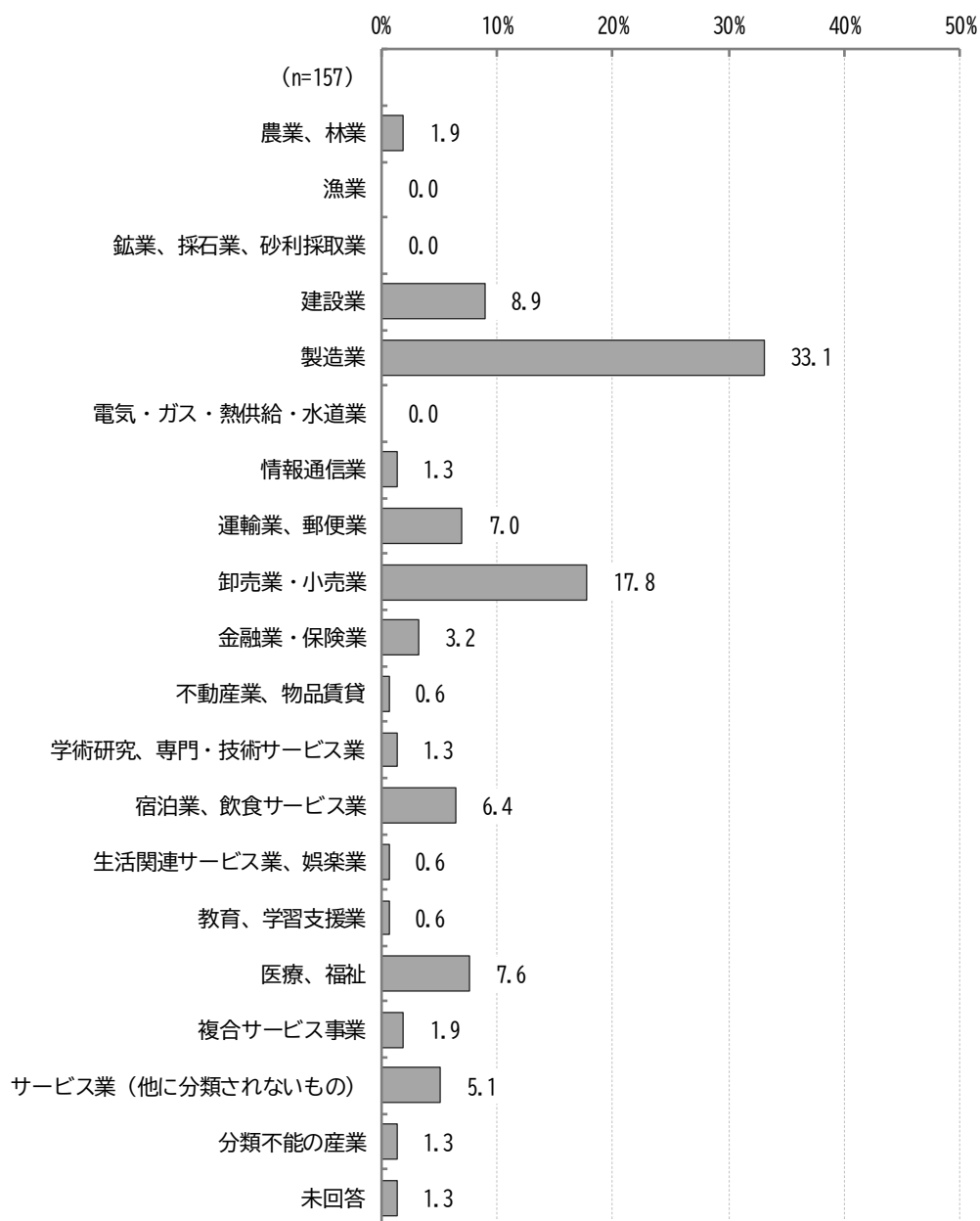
①会社・事業所のタイプ

「本社・本部」が48.4%と最も多く、次いで「工場」が33.1%、「営業所・支店」が19.1%であった。



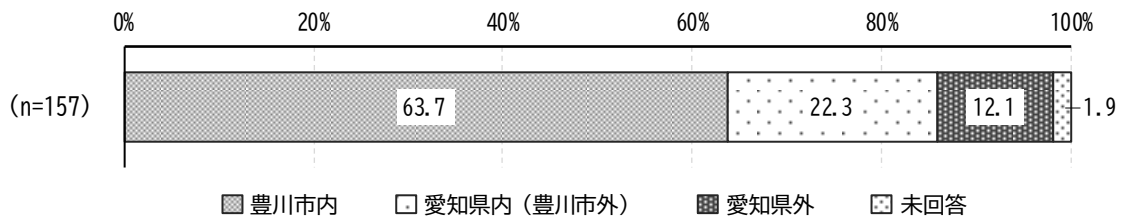
②主な業種

「製造業」が33.1%と最も多く、次いで「卸売業・小売業」が17.8%、「建設業」が8.9%であった。



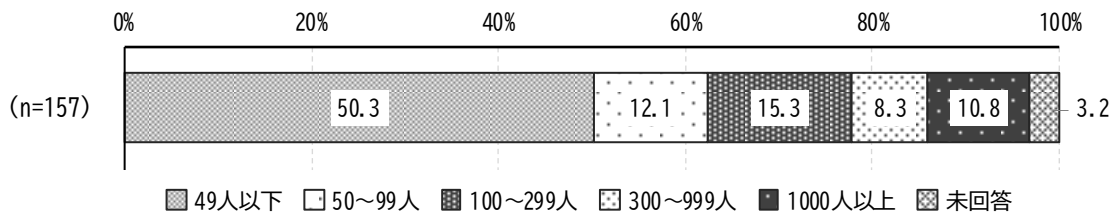
③本社所在地

「豊川市内」が63.7%と最も多く、次いで「愛知県内（豊川市外）」が22.3%、「愛知県外」が12.1%であった。



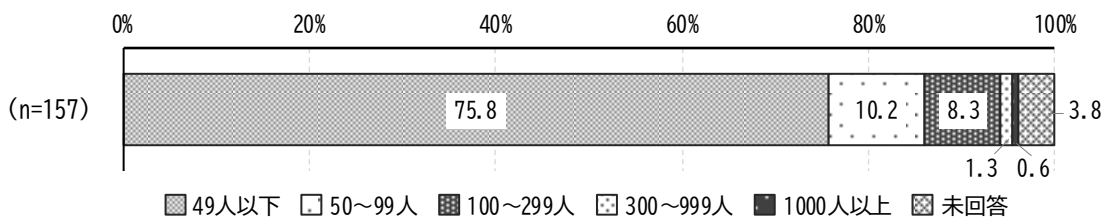
④全社の従業員数

「49人以下」が50.3%と最も多く、次いで「100～299人」が15.3%、「50～99人」が12.1%、「1000人以上」が10.8%であった。



⑤会社・事業所の従業員数

「49人以下」が75.8%と最も多く、次いで「50～99人」が10.2%、「100～299人」が8.3%であった。



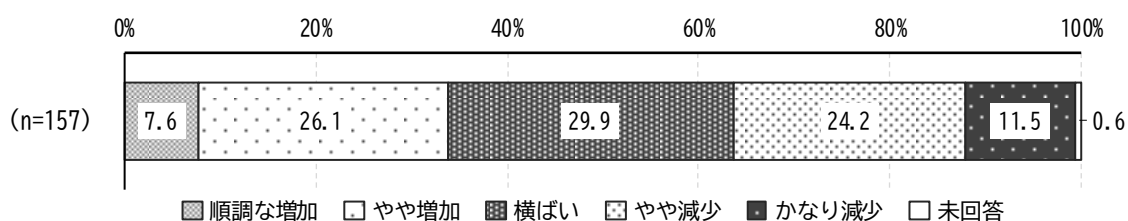
II. 今後の事業展望について

(1) 近年の業績

問2 近年（過去5か年程度）の業績はどのように推移していますか。

「横ばい」が29.9%と最も多く、次いで「やや増加」が26.1%であった。

「やや減少」と「かなり減少」の合計は35.7%で、「順調な増加」と「やや増加」の合計33.7%を上回っている。

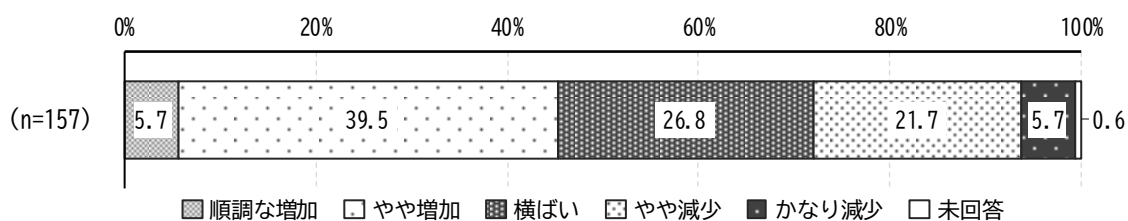


(2) 今後の業績の見通し

問3 今後の業績（5年先程度の見通し）はどのように展望していますか。

「やや増加」が39.5%と最も多く、次いで「横ばい」が26.8%であった。

「順調な増加」と「やや増加」の合計は45.2%で、「やや減少」と「かなり減少」の合計27.4%を上回っている。

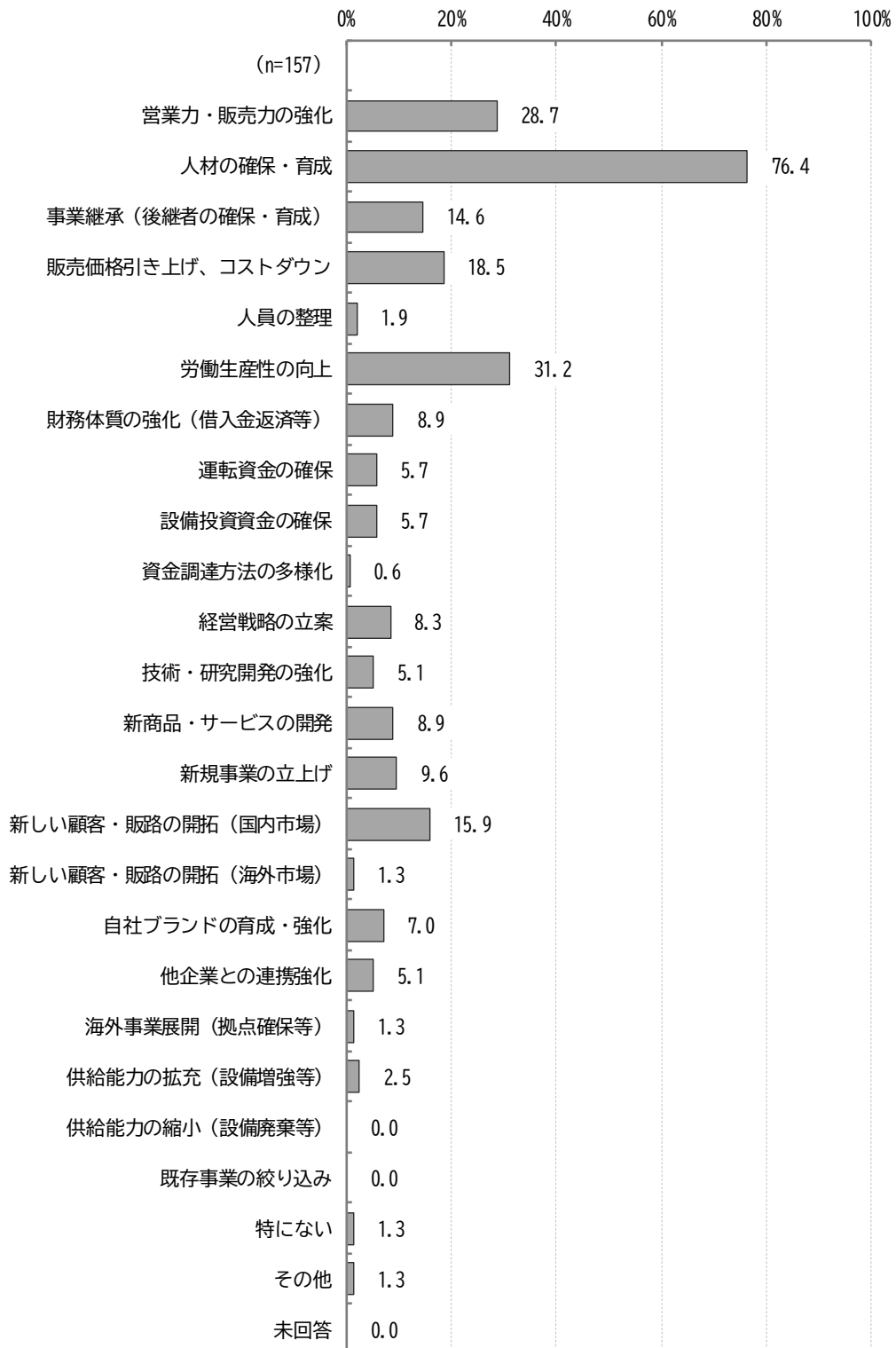


(3) 会社・事業所における経営課題

問4 貴社・事業所における経営課題は何だとお考えですか。(3つまで○印)

「人材の確保・育成」が76.4%と最も多く、次いで「労働生産性の向上」31.2%、「営業力・販売力の強化」28.7%であった。

「その他」として「老朽化」という意見があった。



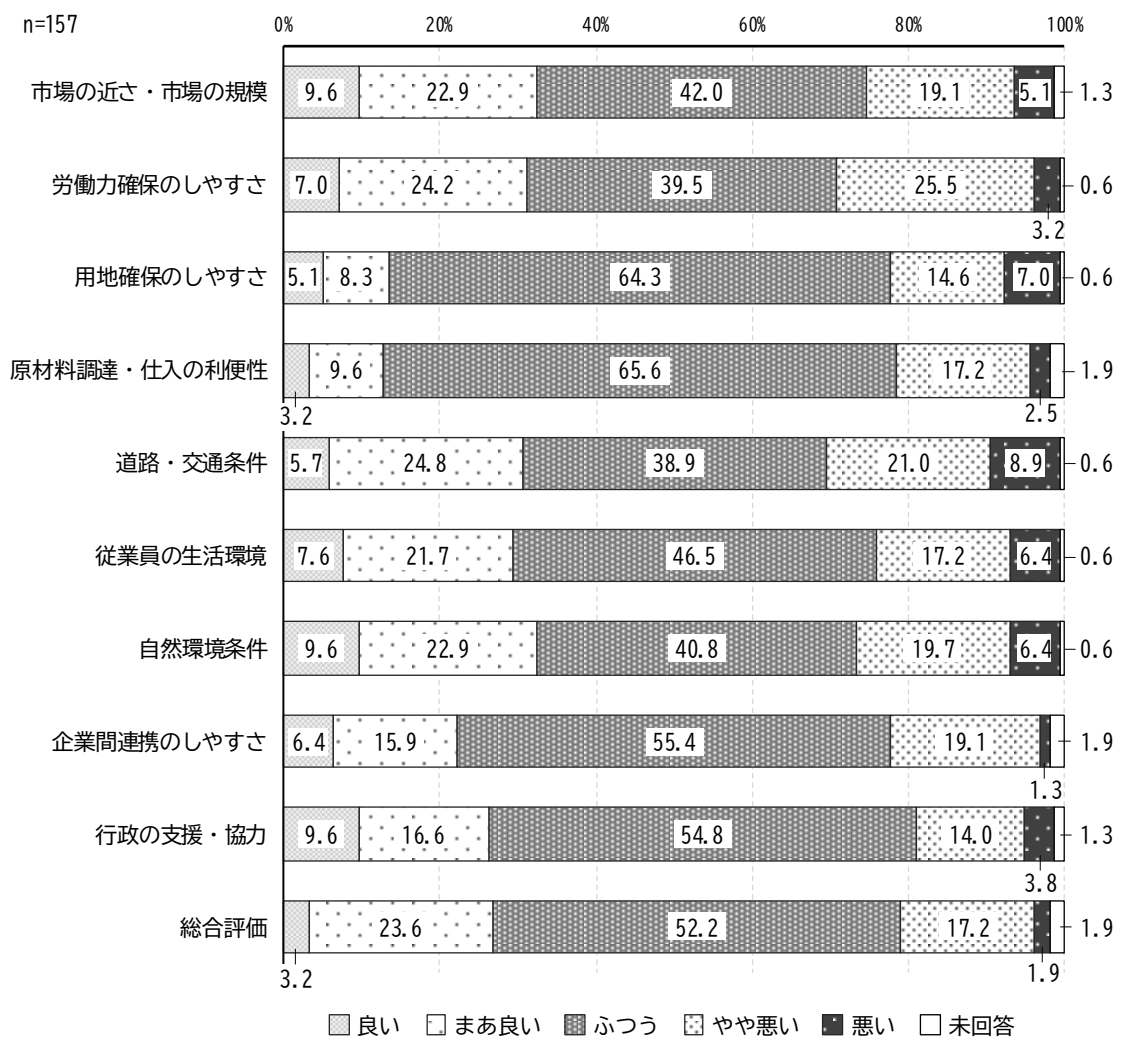
(4) 立地場所としての豊川市の評価

問5 貴社・事業所の立地場所として豊川市というまちをどのように評価していますか。以下の項目ごとに、該当するものを1つ選択してください。

総合評価は「ふつう」が52.2%と最も多く、次いで「まあ良い」が23.6%、「やや悪い」が17.2%であった。

「良い」と「まあ良い」の合計が最も多いのは「市場の近さ・市場の規模」と「自然環境条件」の32.5%であった。

「用地確保のしやすさ」及び「原材料調達・仕入の利便性」の2項目は、「やや悪い」と「悪い」の合計が「良い」「まあ良い」の合計を上回っている。



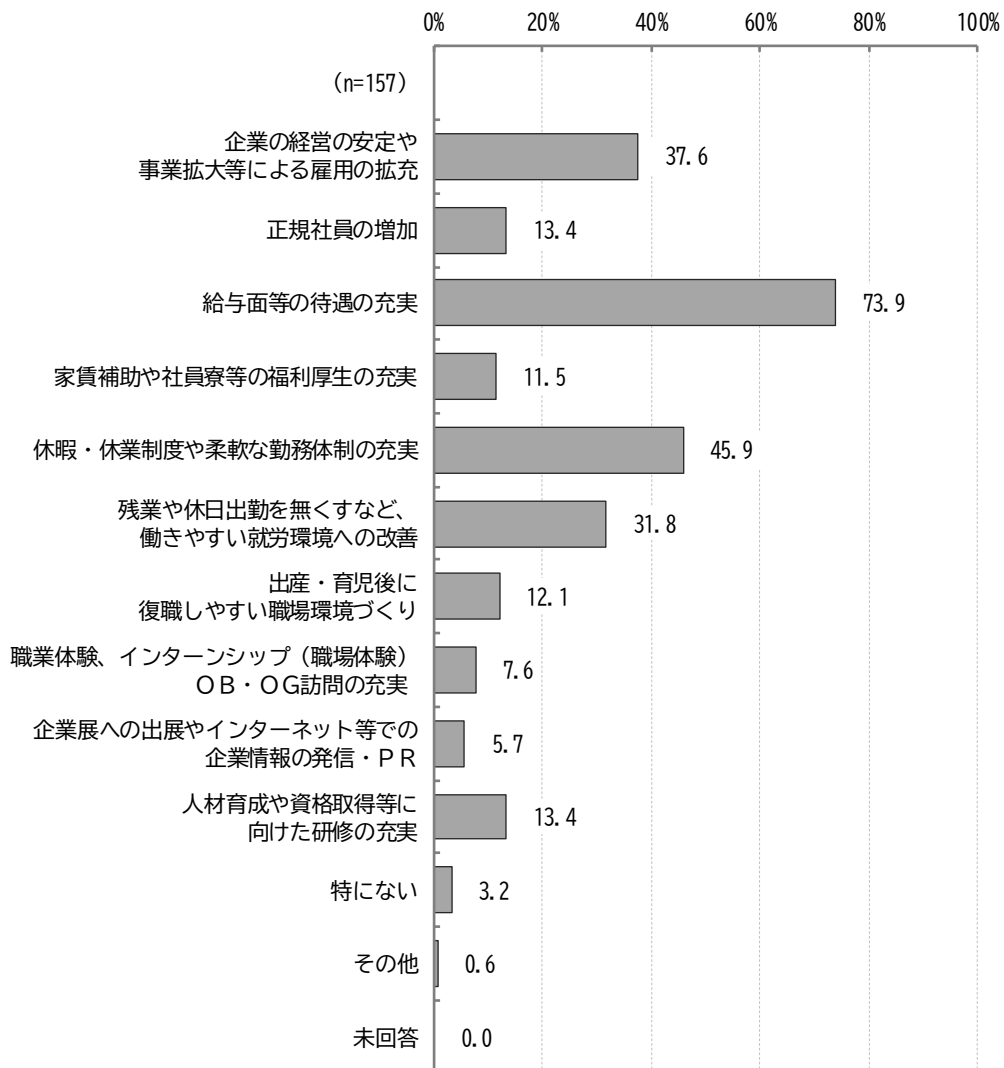
Ⅲ. 多様な人材の雇用について

(1) 若者に就職先として選ばれるために必要な取組

問6 若者に就職先として選ばれるために、企業・事業所としてどのような取組が必要だと思いますか。
(3つまで○印)

「給与面等の待遇の充実」が73.9%と最も多く、次いで「休暇・休業制度や柔軟な勤務体制の充実」が45.9%、「企業の経営の安定や事業拡大等による雇用の拡充」が37.6%であった。

「その他」として、「人間関係の良さ」という意見があった。



(2) 若者に就職先として選ばれるために必要な取組で行政に期待すること

問7 問6で回答した項目のうち、特に行政（国・県・市）による取組を期待するもの及び内容は何か。（自由記述）

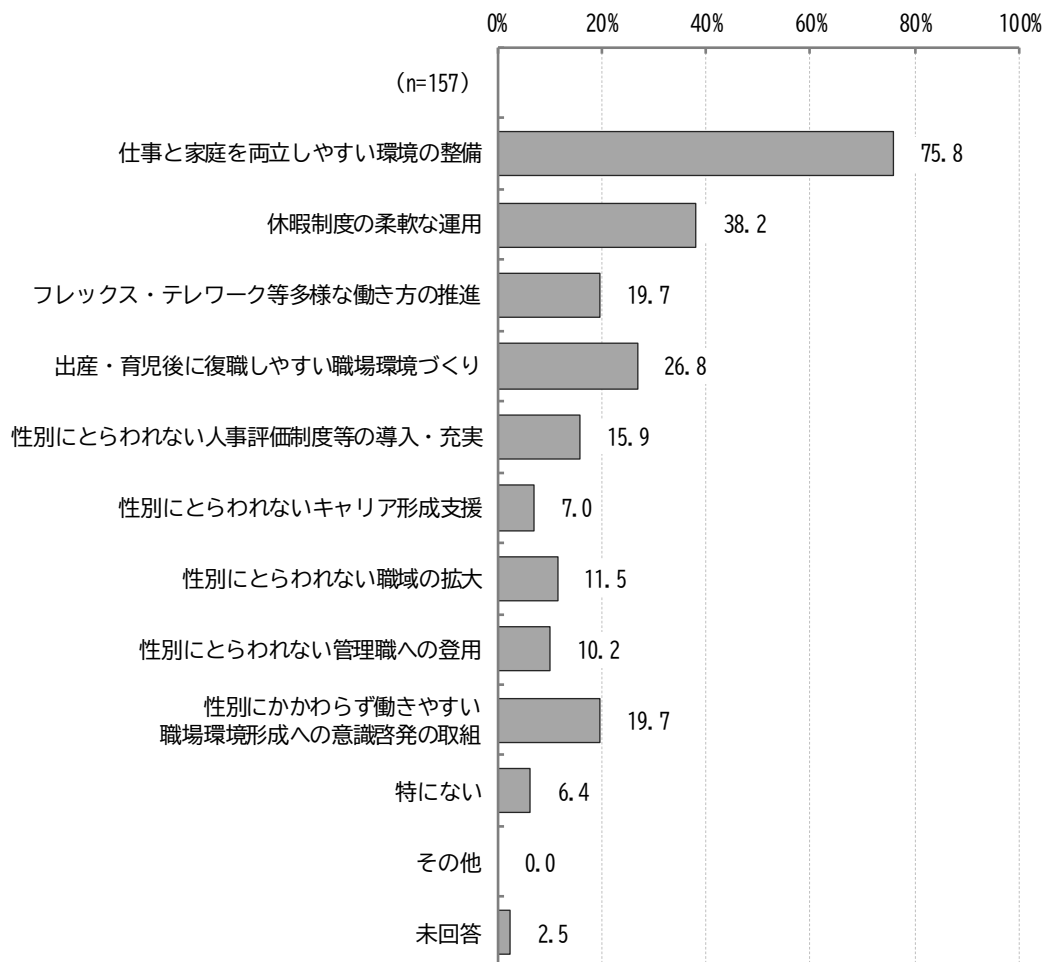
補助金・助成金に関する意見が10件と最も多く、次いで人材確保の支援、処遇改善の支援に関する意見が各6件であった。

分類	回答数	主な意見
補助金・助成金	10	補助金・助成金の充実（出産・育児休暇、有給休暇取得時、人件費・物価上昇、など）
人材確保の支援	6	企業説明会・求人イベント等の開催充実（夏休み等を使った複数の企業を見学できるバスツアー等）、など
処遇改善の支援	6	物価高・最低賃金引上げへの対応、賃金格差の改善、市委託事業の労働環境改善
税負担の軽減	4	減税（固定資産税など）、零細企業への税優遇
子育て支援	2	子育て世帯への支援、産休期間延長、保育所増加
交通の充実	2	公共交通機関の維持・充実、高速料金の値下げ
その他	12	進学で地域外に出ている学生が戻ってきたいと思えるまちづくり、年収の壁と時給引上げに伴う労働時間短縮への対策、企業誘致、企業アピール、など
特になし	7	—

(3) ライフステージを踏まえた働き方の希望を叶えるために必要な取組

問8 性別にかかわらずすべての従業員がライフステージを踏まえた働き方の希望を叶えるために、企業・事業所としてどのような取組が必要だと思いますか。(3つまで○印)

「仕事と家庭を両立しやすい環境の整備」が75.8%と最も多く、次いで「休暇制度の柔軟な運用」が38.2%、「出産・育児後に復職しやすい職場環境づくり」が26.8%であった。



(4) ライフステージを踏まえた働き方の希望を叶えるために必要な取組で行政に期待すること

問9 問8で回答した項目のうち、特に行政(国・県・市)による取組を期待するもの及び内容は何ですか。(自由記述)

子育て支援に関する意見が9件と最も多く、次いで補助金・助成金に関する意見が7件、人材活躍、処遇改善に関する意見が各2件であった。

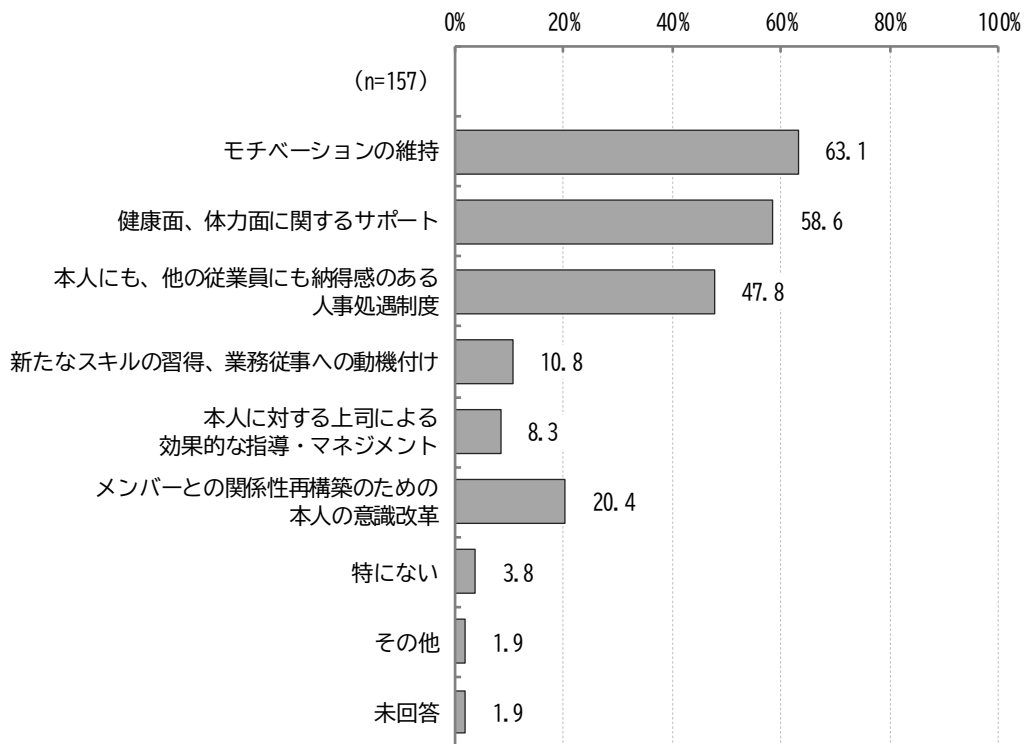
分類	回答数	主な意見
子育て支援	9	保育園・学童保育・ファミリーサポート事業等の充実、病児保育の柔軟な対応、保育士確保の支援、産休期間の延長
補助金・助成金	7	育児休暇等に対する助成、障害者等の雇用に対する補助金、補助金の充実
人材活躍の支援	2	固定的性別役割分担の意識改革のセミナー・イベント、性別によらず活躍できる職場形成企業の認定制度
処遇改善の支援	2	賃金引上げに対する支援、減税による手取り額の確保、受託業者も市と同様の休暇が取得できる仕組み
その他	5	減税、年収の壁と時給引上げに伴う労働時間短縮への対策、交通インフラの整備、など
なし	9	—

(5) 高齢従業員が生きがいをもって働き続けるために必要な取組

問 10 定年とする年齢以上の高齢従業員が生きがいをもって働き続けるために、企業・事業所としてどのような取組が必要だと思いますか。(3つまで○印)

「モチベーションの維持」が63.1%と最も多く、次いで「健康面、体力面に関するサポート」が58.6%、「本人にも、他の従業員にも納得感のある人事処遇制度」が47.8%であった。

「その他」として「就労時間・日数等の多様な働き方の受け入れ」「給与等待遇面での優遇」「柔軟な働き方、勤務スタイル」という意見があった。



(6) 高齢従業員が生きがいをもって働き続けるために必要な取組で行政に期待すること

問11 問10で回答した項目のうち、特に行政（国・県・市）による取組を期待するもの及び内容は何か。（自由記述）

補助金・助成金、健康づくりの支援が各4件と最も多く、次いで税優遇、年金制度の改善に関する意見が各3件であった。

分類	回答数	主な意見
補助金・助成金	4	高齢者雇用に対する賃金補助、物価上昇に対する補助金
健康づくりの支援	4	健康診断の無料化、健康・体力づくりのサポート
税優遇	3	高齢者採用に対する税・保険料の優遇
年金制度の見直し	3	在職老齢年金の支給停止の基準額引上げ
その他	5	60歳以上の雇用・就労実績に応じた支援、孫休暇など余裕のある勤務体制の導入支援、など
特になし	15	—

(7) 多様な人材が活躍するための取組

問 12 障害のある方や外国にルーツのある方等、多様な人材が活躍できるよう取り組んでいることはありますか。(自由記述)

障害者雇用が13件と最も多く、次いで外国人雇用が10件、バリアフリーが4件であった。

分類	回答数	主な意見
障害者雇用	13	子会社の設置、特別支援学校からの定期的な採用、など
外国人雇用	10	研修生制度の活用、翻訳アプリ等を活用した操作説明、など
バリアフリー	4	施設・設備のバリアフリー化、国籍の違いや障害の有無に関わらず、本人に合った仕事内容
人員配置	3	適材適所、意欲・能力に応じた公正な役割分担
採用	2	採用面での配慮、随時登用
その他	5	言語の壁に対する軽減策(母国語での掲示)、職場見学の実施、など
なし	13	—

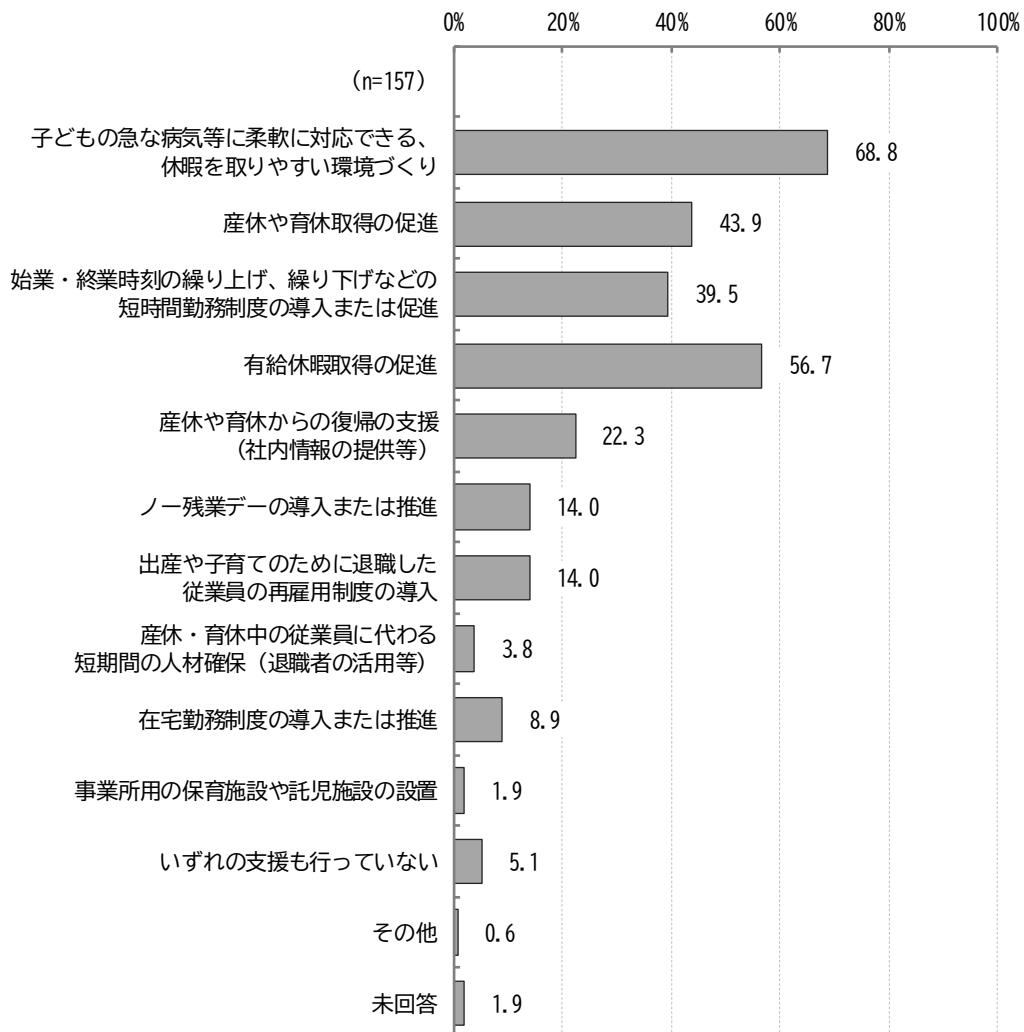
IV. 仕事と家庭の両立支援の取組について

(1) 従業員の仕事と子育ての両立のための支援

問 13 従業員の仕事と子育ての両立のために、どのような支援を行っていますか。(あてはまるものすべてに○印)

「子どもの急な病気等に柔軟に対応できる、休暇を取りやすい環境づくり」が68.8%と最も多く、次いで「有給休暇取得の促進」が56.7%、「産休や育休取得の促進」が43.9%であった。

「その他」として「1人1人環境が違うので、話し合いにより、良い方法をとる」という意見があった。

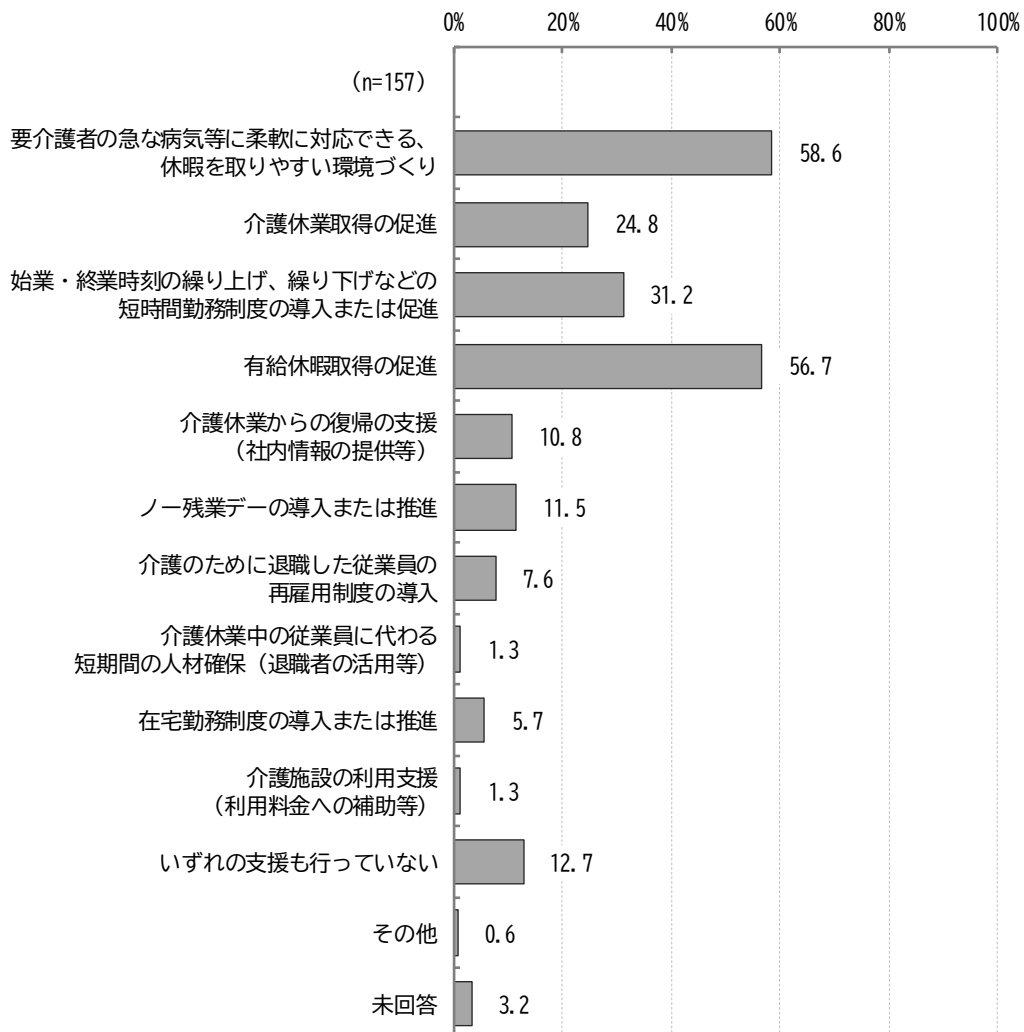


(2) 従業員の仕事と介護の両立のための支援

問 14 従業員の仕事と介護の両立のために、どのような支援を行っていますか。(あてはまるものすべてに○印)

「要介護者の急な病気等に柔軟に対応できる、休暇を取りやすい環境づくり」が58.6%と最も多く、次いで「有給休暇取得の促進」が56.7%、「始業・終業時間の繰り上げ、繰り下げなどの短時間勤務制度の導入または促進」が31.2%であった。

「その他」として「1人1人環境が違うので、話し合いにより、良い方法をとる」という意見があった。

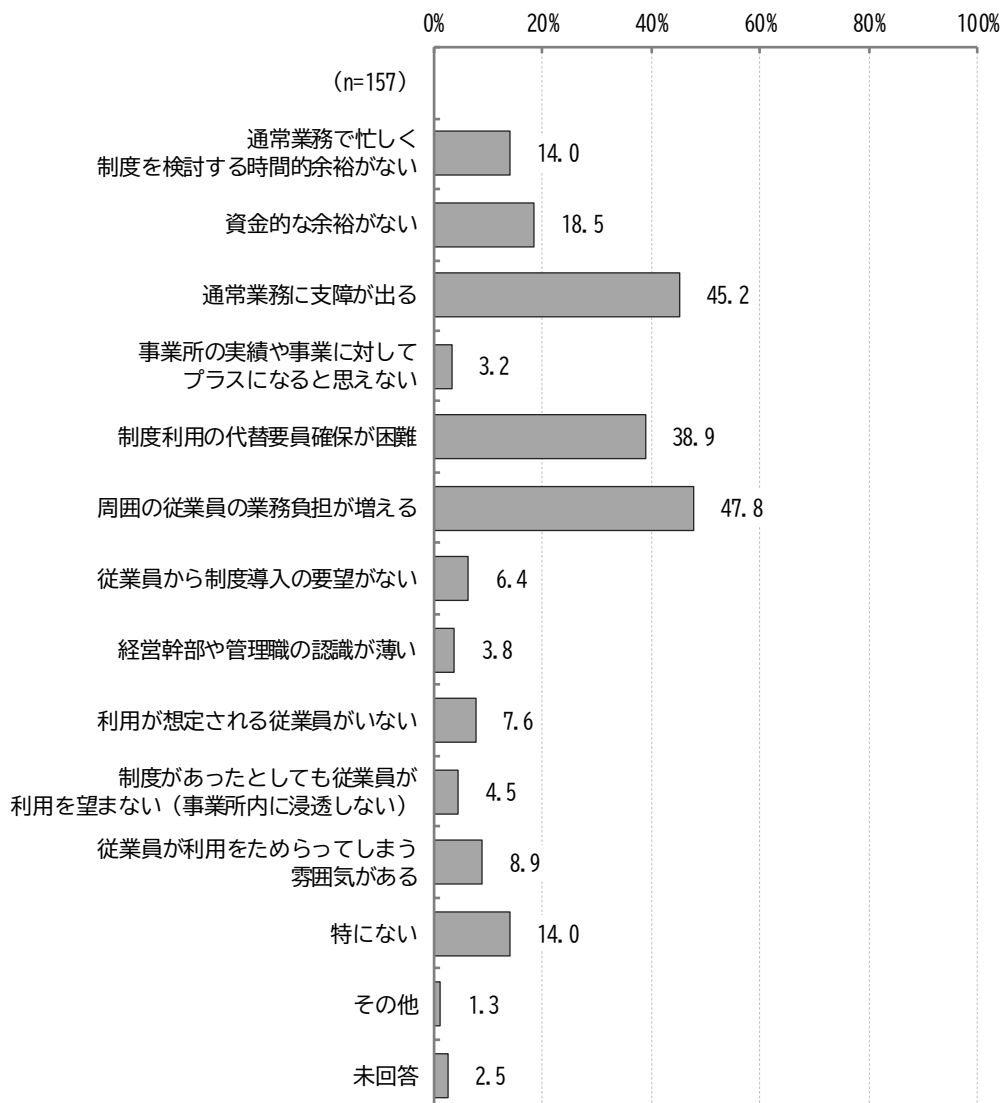


(3) 働きやすい職場づくりにおいて支障となること

問 15 子育てや介護との両立が必要な従業員が働きやすい職場づくりとして、休暇・休業制度の充実や時差出勤の導入等が考えられますが、これらに取り組む場合に、支障となることは何ですか。(あてはまるものすべてに○印)

「周囲の従業員の業務負担が増える」が47.8%と最も多く、次いで「通常業務に支障が出る」が45.2%、「制度利用の代替要員確保が困難」が38.9%であった。

「その他」として「育児休業中に代わりの方に来ていただけるように、短期の派遣などしていただけるようにしてほしい」「人員」という意見があった。



(4) 働きやすい職場づくりにおいて行政に期待すること

問 16 問 15 で回答した項目のうち、特に行政（国・県・市）による取組を期待するもの及び内容は何か。（自由記述）

補助金・助成金に関する意見が 11 件と最も多く、次いで税優遇に関する意見が 2 件であった。

分類	回答数	主な意見
補助金・助成金	11	各種休暇・休業に対する補助金、短期間の人材確保のための補助金、子育て支援助成金制度の拡充
税優遇	2	取組実施企業に対する税の優遇措置
その他	4	若者の就業支援、公営の介護施設・サービスの充実、など
なし	11	—

V. 豊川市の取組への期待について

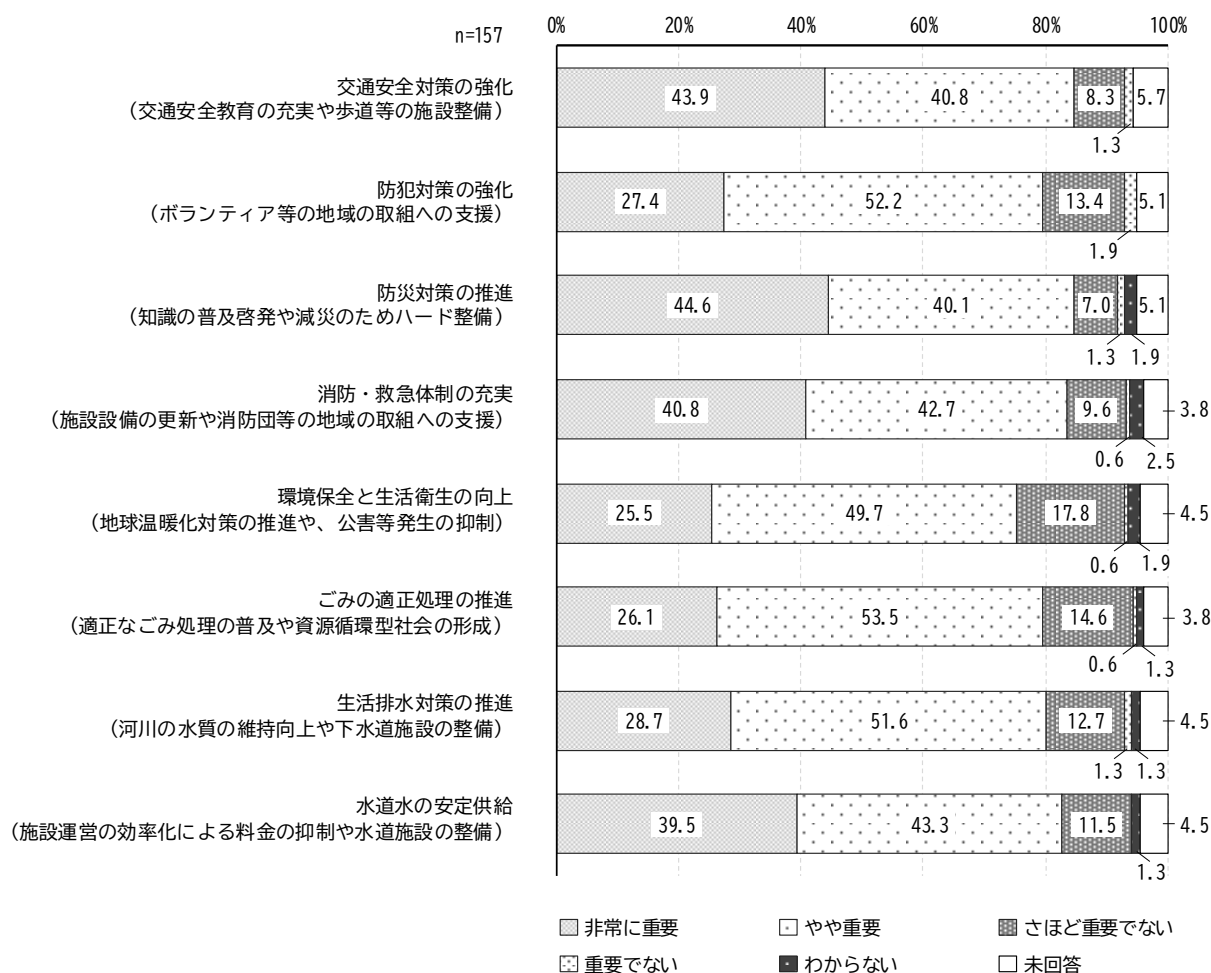
(1) 地域社会・経済活性化のための豊川市の取組の重要度

問 17 地域の一員でもある企業・事業所として、地域社会・経済の活性化のために豊川市が実施する以下の取組について、どの程度重要だと考えますか。(該当する番号に○印)

【安全・安心】

「非常に重要」が最も多い取組は「防災対策の強化」(44.6%)で、次いで「交通安全対策の強化」(43.9%)であった。

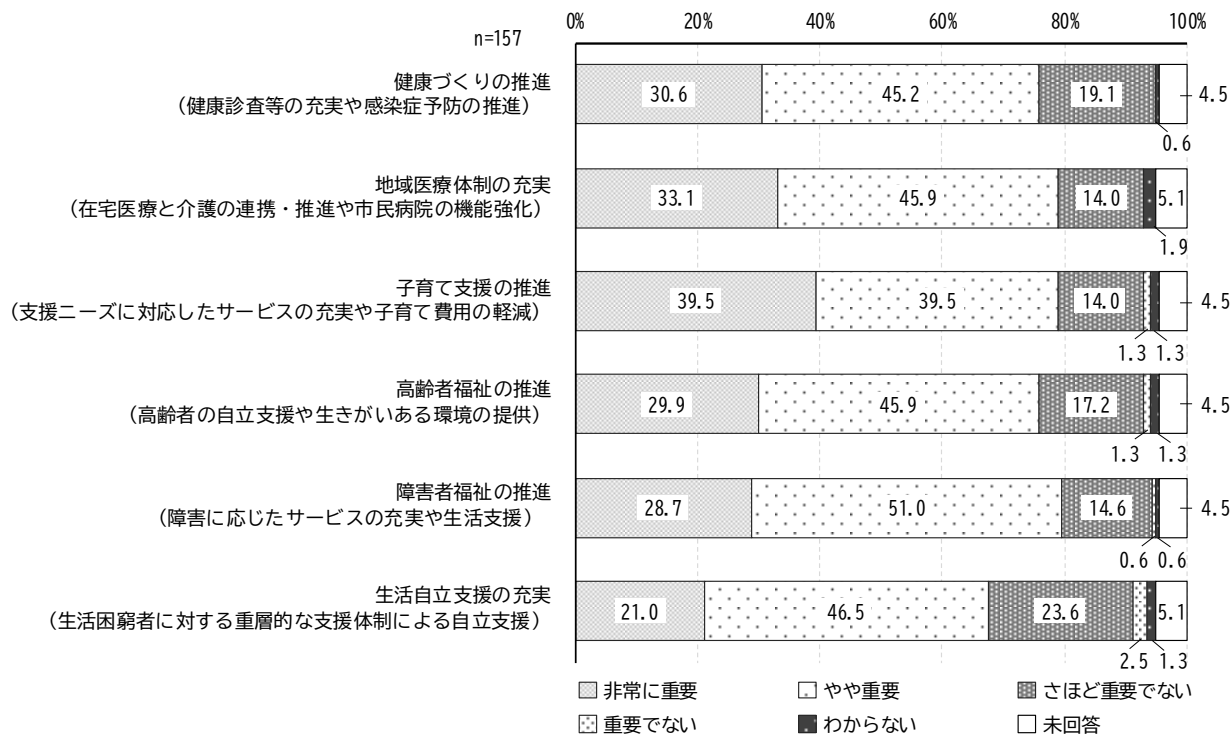
「非常に重要」と「やや重要」の合計はいずれの取組も高い割合を示しており、地域の企業・会社にとらえる【安全・安心】分野の取組の重要性は高い状況であった。



【健康・福祉】

「非常に重要」が最も多い取組は「子育て支援の推進」(39.5%)で、次いで「地域医療体制の充実」(33.1%)であった。

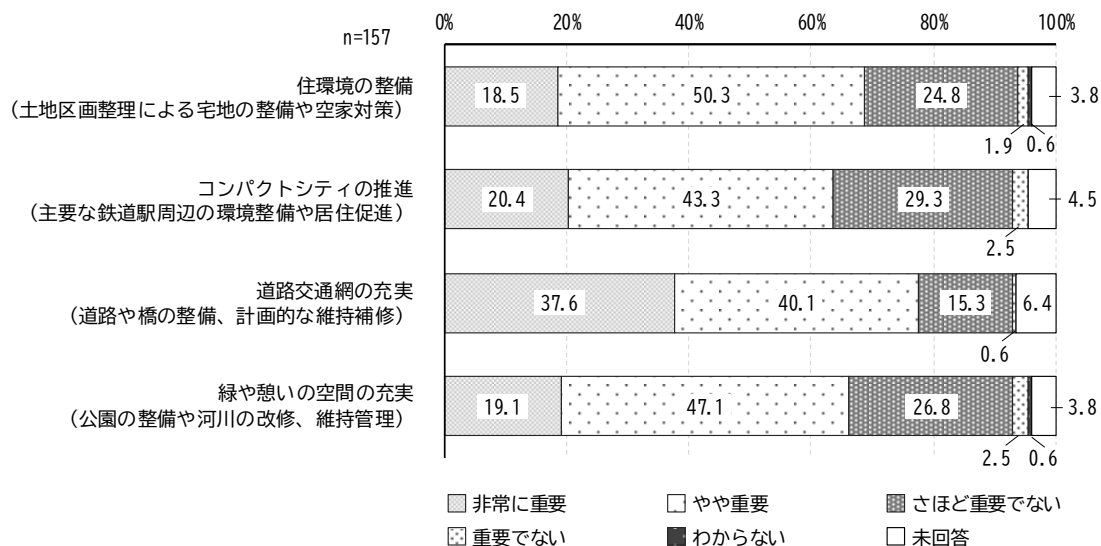
「非常に重要」と「やや重要」の合計は、すべての項目において概ね7～8割となっており、【健康・福祉】分野の取組全般において地域の企業・事業所がとらえる重要性が高い状況であった。



【建設・整備】

「非常に重要」が最も多い取組は「道路交通網の充実」(37.6%)で、次いで「コンパクトシティの推進」(20.4%)であった。

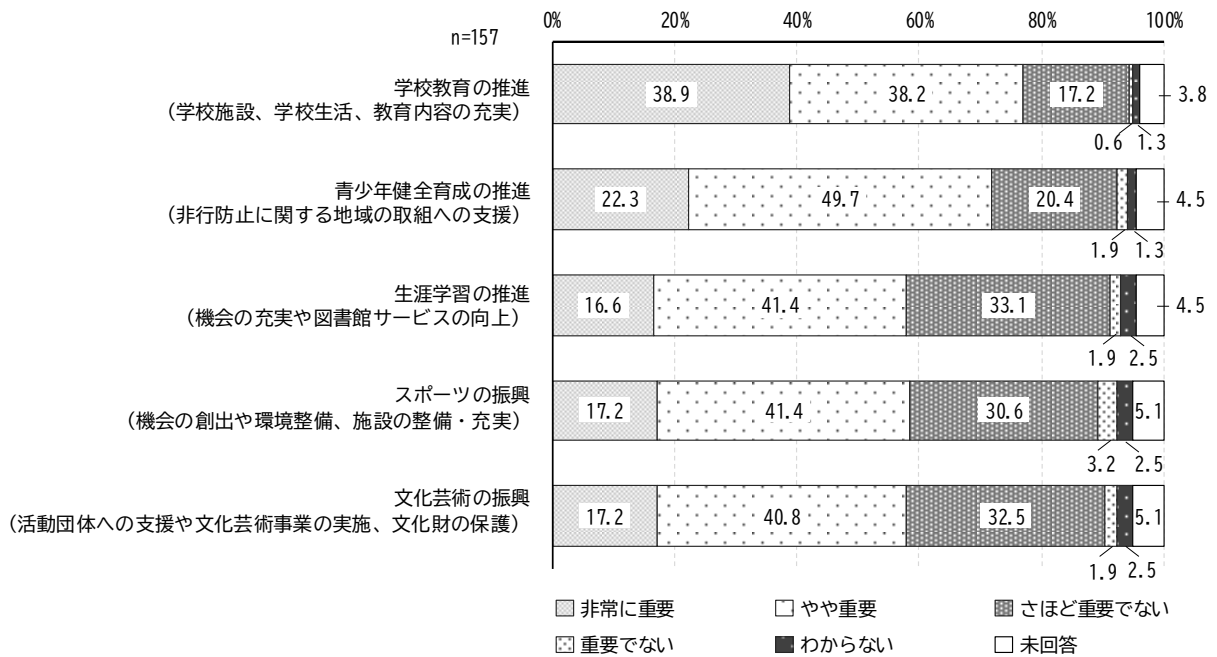
「非常に重要」と「やや重要」の合計は、「道路交通網の充実」(77.7%)が他の3項目と比べて高い割合を示しており、【建設・整備】分野における取組の中でも地域の企業・事業所がとらえる重要性が高い状況であった。



【教育・文化】

「非常に重要」が最も多い取組は「学校教育の推進」(38.9%)で、次いで「青少年健全育成の推進」(22.3%)であった。

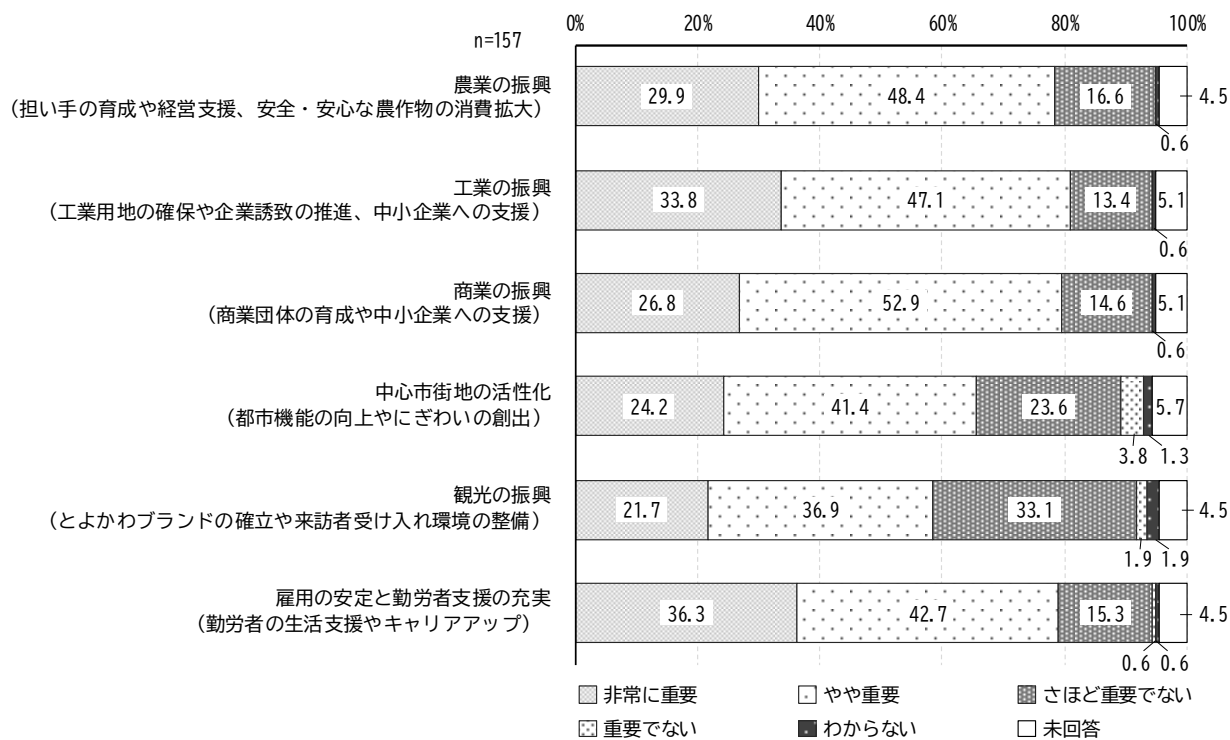
「非常に重要」と「やや重要」の合計は、「学校教育の推進」(77.1%)及び「青少年健全育成の支援」(72.0%)が他の取組に比べて高い割合を示しており、【教育・文化】分野における取組の中でも、地域の企業・事業所は若い世代への取組に対して重要性が高いととらえている状況であった。



【産業・雇用】

「非常に重要」が最も多い取組は「雇用の安定と勤労者支援の充実」(36.3%)で、次いで「工業の振興」(33.8%)であった。

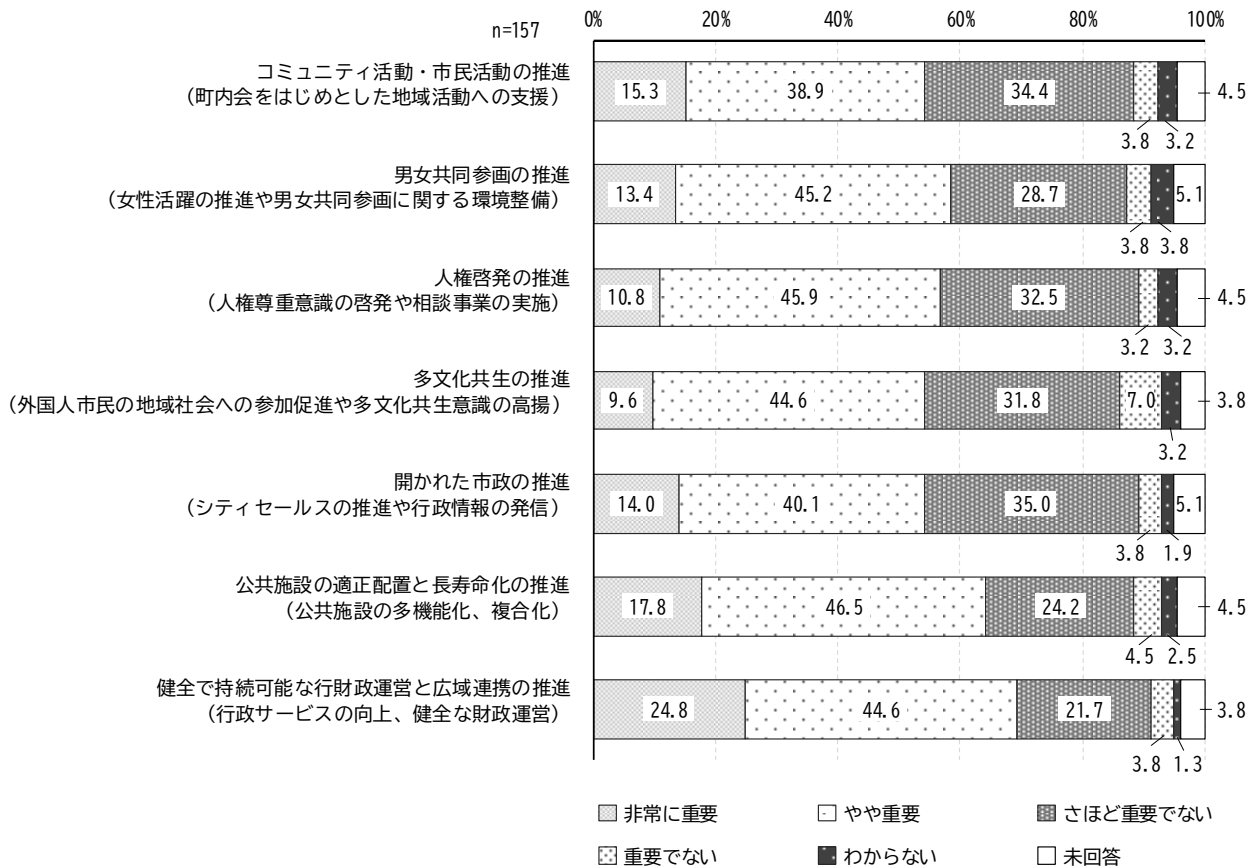
「非常に重要」と「やや重要」の合計は、6項目中4項目が7割を超えており、【産業・雇用】分野における取組の中でも地域の企業・事業所がとらえる重要性が高い状況であった。



【地域・行政】

「非常に重要」が最も多い取組は「健全で持続可能な行財政運営と広域連携の推進」(24.8%)で、次いで「公共施設の適正配置と長寿命化の推進」(17.8%)であった。

「非常に重要」と「やや重要」の合計は、「健全で持続可能な行財政運営と広域連携の推進」(69.4%)が他の6項目と比べて高い割合を示しており、【地域・行政】分野における取組の中でも地域の企業・事業所がとらえる重要性が高い状況であった。



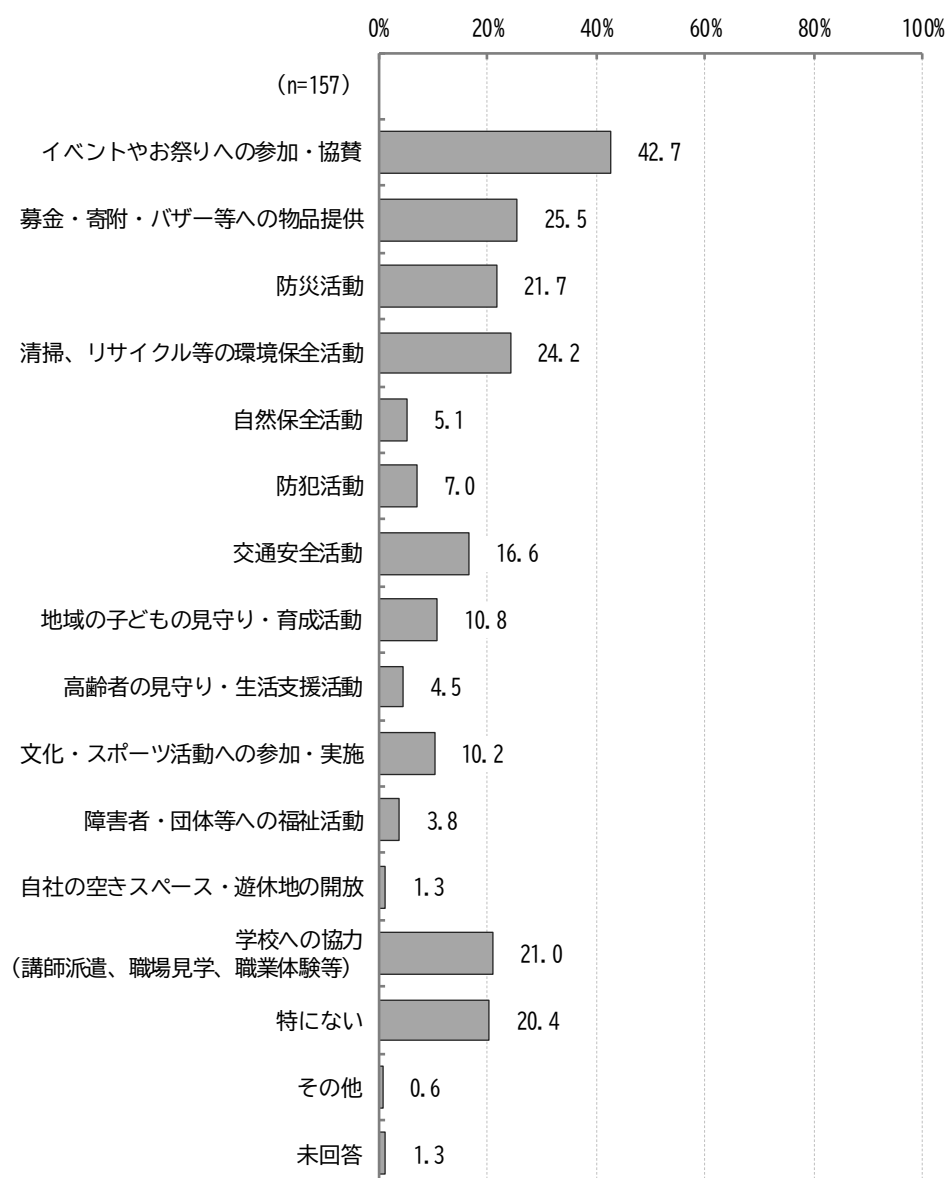
VI. 公民連携の取組について

(1) 地域社会・経済活性化のための豊川市の取組の重要度

問 18 貴社・事業所において、地域や行政との連携・協働の観点から、会社や従業員で取り組んでいることはありますか。(あてはまるものすべてに○印)

「イベントやお祭りへの参加・協賛」が42.7%と最も多く、次いで「募金・寄附・バザー等への物品提供」が25.5%、「清掃、リサイクル等の環境保全活動」が24.2%であった。

「その他」として、「地域猫活動」という意見があった。

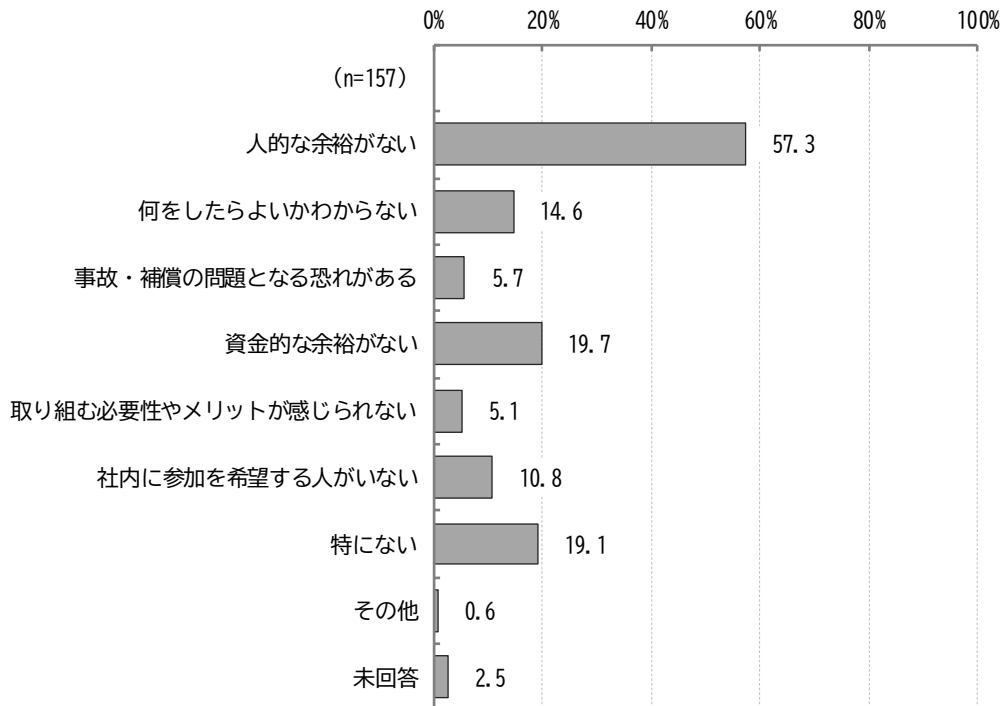


(2) 社会貢献活動における課題

問 19 貴社・事業所において、社会貢献活動（CSR活動等）を行うにあたって問題になることは何ですか。（2つまで○印）

「人的な余裕がない」が 57.3%と最も多く、次いで「資金的な余裕がない」が 19.7%、「特にない」が 19.1%であった。

「その他」として、「会社の存在自体が社会貢献活動で、会社と社員の関係が一番重要と思うので、人を中心に考えることが大切」という意見があった。



Ⅷ. その他、市のまちづくりについての意見・提案について

(1) 魅力あるまちづくりに向けた意見・提案

問 20 最後に、企業・事業所のお立場から、今後の魅力あるまちづくりに向けたご意見・ご提案等について、お聞かせください。

まちづくりに関する意見が7件と最も多く、次いで交通の改善に関する意見が6件、情報発信に関する意見が4件と続いた。

分類	回答数	主な意見
まちづくり	7	若者が活躍し輝けるまちづくり、中心市街地の活性化、住環境、治安、防災、教育等の充実、耕作放棄地の宅地化の推進、人口増加施策、商業施設の充実、住みたいと思える環境づくり、既存施設・環境整備を優先した基盤整備の方が必要
交通の改善	6	慢性的な渋滞の緩和、道路（車・自転車）の整備、幹線道路の雑草が多く交通に支障、穂ノ原企業団地周辺の公共交通機関が不便
情報発信	4	豊川市の魅力・文化・見所等の全国 PR、他都道府県に進学した学生に対する地元企業で働き、生活する魅力の発信、シティセールスを通じた名古屋・尾張方面からの移住促進・人口増加
企業誘致	2	積極的な企業誘致による流入人口の増加
子育て支援	2	働く父母のための子育てしやすい環境の整備、安心・安全の強化
生活環境の改善	2	歩道・自転車道の整備、植栽の剪定・街路灯の増設、住民が幸福感を感じられる生活環境づくり
補助金・助成金	2	最低賃金の引上げに対する中小企業支援、市内全小学校での花育活動に対する補助金
その他	7	地元の企業を支援する（守る）市政をとってほしい、各種協働事業の推進、現場へ足を運び、実際の声を聞くことや、中小企業にも大小があることを知ってほしい、など
なし	6	—

第7次豊川市総合計画策定のための企業アンケート調査

企業のご意見をお聞かせください



調査のお願い

日頃は市政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

豊川市では、現在、令和8年度から10年間のまちづくりの方針を示す「第7次豊川市総合計画」の策定に向けての作業を行っています。

つきましては、市内に立地する企業の皆様の、事業の現状や課題、今後の行政施策へ期待すること等を把握するため、アンケート調査を実施するものです。

ご多忙のところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和6年7月

豊川市長 竹本 幸夫

ご記入にあたってのお願い

- 1 貴社・事業所を代表される方、又は総務・人事担当者の方等で、回答いただける範囲でご記入ください。本社等まで転送していただく必要はございません。
- 2 “豊川市内”の企業（本社・支店、工場・事業所・店舗等）を対象にお考えください。市外の事業所は対象としません。
- 3 ご回答は、**令和6年8月30日（金）**までをお願いします。
- 4 市への期待等に関する設問への回答は、ご記入者様の所感で差し支えありません。
- 5 回答は「インターネット」、「郵送」、「メール」または「ファックス」によりお願いします。

- ①「インターネット」の場合は、パソコンやスマートフォンを使って、以下の URL もしくは右記の二次元コードにアクセスの上、回答してください。画面に従って回答し、最後まで入力完了後、【送信】ボタンをクリックしてください。「回答を記録しました。」と表示されれば終了となります。



URL : <https://forms.gle/xo7AH4ppDMav5WFf9>

- ②「郵送」の場合は、本調査票に記入いただいた上、同封の返信用封筒にて上記期限までにご返送ください。回答欄の記述スペースが足りない場合は、別の用紙に記入いただいても結構です。
 - ③「メール」または「ファックス」の場合は、本調査票に記入いただいた上、下記の問合せ先へ上記期限までにご送信ください。回答欄の記述スペースが足りない場合は、別の用紙に記入いただいても結構です。
- 6 アンケートで回答いただいた内容は、統計処理を実施し、法人及び個人が特定できない形で、本調査の目的及び本市における施策の検討等に活用するとともに、公表させていただきます。

【この調査に関するお問合せ先】

豊川市企画部企画政策課 担当：鈴木、神藤
電 話：0533-89-2126
ファックス：0533-89-2125
E メール：kikaku@city.toyokawa.lg.jp

【調査対象企業について】

本調査は、市内に事業所を有する企業のうち、市内の事業所の従業員数10人以上の企業から無作為抽出した400社にお願いするものです。

I. 貴社・事業所について

問1 貴社・事業所についてお伺いします。(主な事業所のタイプは2つまで○印、主な業種以降はそれぞれ1つに○印)

主な事業所のタイプ (2つまで○)	1 本社・本部 2 工場 3 営業所・支店	4 店舗・飲食店 5 医療・福祉事業所 6 その他 ()
主な業種	1 農業、林業 2 漁業 3 鉱業、採石業、砂利採取業 4 建設業 5 製造業 6 電気・ガス・熱供給・水道業 7 情報通信業 8 運輸業、郵便業 9 卸売業・小売業 10 金融業・保険業	11 不動産業、物品賃貸 12 学術研究、専門・技術サービス業 13 宿泊業、飲食サービス業 14 生活関連サービス業、娯楽業 15 教育、学習支援業 16 医療、福祉 17 複合サービス事業 18 サービス業(他に分類されないもの) 19 分類不能の産業
本社所在地	1 豊川市内 2 愛知県内(豊川市外) 3 愛知県外	
全社の従業員数	()人	
貴社・事業所の従業員数	()人	

*従業員は、正職員・嘱託職員・パートタイマー・アルバイト等を含みます。

差し支えなければ、このアンケートに回答していただいた方のお名前とご連絡先を教えてください。(記入は任意です。)

企業・事業所名	
担当部署 担当者名 連絡先	部署名： 氏名： 電話： メール：

問5 貴社・事業所の立地場所として豊川市というまちをどのように評価していますか。
以下の項目ごとに、該当するものに○をつけてください。(各項目1つに○印)

	良い	まあ良い	ふつう	やや悪い	悪い
1 市場の近さ・市場の規模	5	4	3	2	1
2 労働力確保のしやすさ	5	4	3	2	1
3 用地確保のしやすさ	5	4	3	2	1
4 原材料調達・仕入の利便性	5	4	3	2	1
5 道路・交通条件	5	4	3	2	1
6 従業員の生活環境	5	4	3	2	1
7 自然環境条件	5	4	3	2	1
8 企業間連携のしやすさ	5	4	3	2	1
9 行政の支援・協力	5	4	3	2	1
10 総合評価	5	4	3	2	1

Ⅲ. 多様な人材の雇用について

問6 若者に就職先として選ばれるために、企業・事業所としてどのような取組が必要だ
と思いますか。(3つまで○印)

1 企業の経営の安定や事業拡大等による雇用の拡充
2 正規社員の増加
3 給与面等の待遇の充実
4 家賃補助や社員寮等の福利厚生の実施
5 休暇・休業制度や柔軟な勤務体制の実施
6 残業や休日出勤を無くすなど、働きやすい就労環境への改善
7 出産・育児後に復職しやすい職場環境づくり
8 職業体験、インターンシップ(職場体験)、OB・OG訪問の実施
9 企業展への出展やインターネット等での企業情報の発信・PR
10 人材育成や資格取得等に向けた研修の実施
11 特になし
12 その他(具体的に)

問10 定年とする年齢以上の高齢従業員が生きがいをもって働き続けるために、企業・事業所としてどのような取組が必要だと思いますか。(3つまで○印)

- 1 モチベーションの維持
- 2 健康面、体力面に関するサポート
- 3 本人にも、他の従業員にも納得感のある人事処遇制度
- 4 新たなスキルの習得、業務従事への動機付け
- 5 本人に対する上司による効果的な指導・マネジメント
- 6 メンバーとの関係性再構築のための本人の意識改革
- 7 特にない
- 8 その他 ()

問11 問10で回答した項目のうち、特に行政(国・県・市)による取組を期待するもの及び内容は何か。(自由記述)

問12 障害のある方や外国にルーツのある方等、多様な人材が活躍できるよう取り組んでいることはありますか。(自由記述)



IV. 仕事と家庭の両立支援の取組について

問 13 従業員の仕事と子育ての両立のために、どのような支援を行っていますか。(あてはまるものすべてに○印)

- 1 子どもの急な病気等に柔軟に対応できる、休暇を取りやすい環境づくり
- 2 産休や育休取得の促進
- 3 始業・終業時刻の繰り上げ、繰り下げなどの短時間勤務制度の導入または促進
- 4 有給休暇取得の促進
- 5 産休や育休からの復帰の支援（社内情報の提供等）
- 6 ノー残業デーの導入または推進
- 7 出産や子育てのために退職した従業員の再雇用制度の導入
- 8 産休・育休中の従業員に代わる短期間の人材確保（退職者の活用等）
- 9 在宅勤務制度の導入または推進
- 10 事業所用の保育施設や託児施設の設置
- 11 いずれの支援も行っていない
- 12 その他（)

問 14 従業員の仕事と介護の両立のために、どのような支援を行っていますか。(あてはまるものすべてに○印)

- 1 要介護者の急な病気等に柔軟に対応できる、休暇を取りやすい環境づくり
- 2 介護休業取得の促進
- 3 始業・終業時刻の繰り上げ、繰り下げなどの短時間勤務制度の導入または促進
- 4 有給休暇取得の促進
- 5 介護休業からの復帰の支援（社内情報の提供等）
- 6 ノー残業デーの導入または推進
- 7 介護のために退職した従業員の再雇用制度の導入
- 8 介護休業中の従業員に代わる短期間の人材確保（退職者の活用等）
- 9 在宅勤務制度の導入または推進
- 10 介護施設の利用支援（利用料金への補助等）
- 11 いずれの支援も行っていない
- 12 その他（)

問 15 子育てや介護との両立が必要な従業員が働きやすい職場づくりとして、休暇・休業制度の充実や時差出勤の導入等が考えられますが、これらに取り組む場合に、支障となることは何ですか。(あてはまるものすべてに○印)

- | | |
|----------------------------|--------------------------------------|
| 1 通常業務で忙しく制度を検討する時間的余裕がない | 8 経営幹部や管理職の認識が薄い |
| 2 資金的な余裕がない | 9 利用が想定される従業員がいない |
| 3 通常業務に支障が出る | 10 制度があったとしても従業員が利用を望まない(事業所内に浸透しない) |
| 4 事業所の実績や事業に対してプラスになると思えない | 11 従業員が利用をためらってしまう雰囲気がある |
| 5 制度利用の代替要員確保が困難 | 12 特にない |
| 6 周囲の従業員の業務負担が増える | 13 その他() |
| 7 従業員から制度導入の要望がない | |

問 16 問 15 で回答した項目のうち、特に行政(国・県・市)による取組を期待するもの及び内容は何か。(自由記述)



V. 豊川市の取組への期待について

問 17 地域の一員でもある企業・事業所として、地域社会・経済の活性化のために豊川市が実施する以下の取組について、どの程度重要だと考えますか。(該当する番号に○印)

政策分野	行政における施策（事業例）	回答欄				
		非常に重要	やや重要	さほど重要でない	重要でない	わからない
安全・安心	1 交通安全対策の強化（交通安全教育の充実や歩道等の施設整備）	1	2	3	4	5
	2 防犯対策の強化（ボランティア等の地域の取組への支援）	1	2	3	4	5
	3 防災対策の推進（知識の普及啓発や減災のためハード整備）	1	2	3	4	5
	4 消防・救急体制の充実（施設設備の更新や消防団等の地域の取組への支援）	1	2	3	4	5
	5 環境保全と生活衛生の向上（地球温暖化対策の推進や、公害等発生の抑制）	1	2	3	4	5
	6 ごみの適正処理の推進（適正なごみ処理の普及や資源循環型社会の形成）	1	2	3	4	5
	7 生活排水対策の推進（河川の水質の維持向上や下水道施設の整備）	1	2	3	4	5
	8 水道水の安定供給（施設運営の効率化による料金の抑制や水道施設の整備）	1	2	3	4	5
健康・福祉	9 健康づくりの推進（健康診査等の充実や感染症予防の推進）	1	2	3	4	5
	10 地域医療体制の充実（在宅医療と介護の連携・推進や市民病院の機能強化）	1	2	3	4	5
	11 子育て支援の推進（支援ニーズに対応したサービスの充実や子育て費用の軽減）	1	2	3	4	5
	12 高齢者福祉の推進（高齢者の自立支援や生きがいある環境の提供）	1	2	3	4	5
	13 障害者福祉の推進（障害に応じたサービスの充実や生活支援）	1	2	3	4	5
	14 生活自立支援の充実（生活困窮者に対する重層的な支援体制による自立支援）	1	2	3	4	5
建設・整備	15 住環境の整備（土地区画整理による宅地の整備や空家対策）	1	2	3	4	5
	16 コンパクトシティの推進（主要な鉄道駅周辺の環境整備や居住促進）	1	2	3	4	5
	17 道路交通網の充実（道路や橋の整備、計画的な維持補修）	1	2	3	4	5
	18 緑や憩いの空間の充実（公園の整備や河川の改修、維持管理）	1	2	3	4	5
教育・文化	19 学校教育の推進（学校施設、学校生活、教育内容の充実）	1	2	3	4	5
	20 青少年健全育成の推進（非行防止に関する地域の取組への支援）	1	2	3	4	5
	21 生涯学習の推進（機会の充実や図書館サービスの向上）	1	2	3	4	5
	22 スポーツの振興（機会の創出や環境整備、施設の整備・充実）	1	2	3	4	5
	23 文化芸術の振興（活動団体への支援や文化芸術事業の実施、文化財の保護）	1	2	3	4	5
産業・雇用	24 農業の振興（担い手の育成や経営支援、安全・安心な農作物の消費拡大）	1	2	3	4	5
	25 工業の振興（工業用地の確保や企業誘致の推進、中小企業への支援）	1	2	3	4	5
	26 商業の振興（商業団体の育成や中小企業への支援）	1	2	3	4	5
	27 中心市街地の活性化（都市機能の向上やにぎわいの創出）	1	2	3	4	5
	28 観光の振興（とよかわブランドの確立や来訪者受け入れ環境の整備）	1	2	3	4	5
	29 雇用の安定と勤労者支援の充実（勤労者の生活支援やキャリアアップ）	1	2	3	4	5
	30 コミュニティ活動・市民活動の推進（町内会をはじめとした地域活動への支援）	1	2	3	4	5
地域・行政	31 男女共同参画の推進（女性活躍の推進や男女共同参画に関する環境整備）	1	2	3	4	5
	32 人権啓発の推進（人権尊重意識の啓発や相談事業の実施）	1	2	3	4	5
	33 多文化共生の推進（外国人市民の地域社会への参加促進や多文化共生意識の高揚）	1	2	3	4	5
	34 開かれた市政の推進（シティセールスの推進や行政情報の発信）	1	2	3	4	5
	35 公共施設の適正配置と長寿命化の推進（公共施設の多機能化、複合化）	1	2	3	4	5
	36 健全で持続可能な行政運営と広域連携の推進（行政サービスの向上、健全な財政運営）	1	2	3	4	5

VI. 公民連携の取組について

問 18 貴社・事業所において、地域や行政との連携・協働の観点から、会社や従業員で取り組んでいることはありますか。(あてはまるものすべてに○印)

1 イベントやお祭りへの参加・協賛	9 高齢者の見守り・生活支援活動
2 募金・寄附・バザー等への物品提供	10 文化・スポーツ活動への参加・実施
3 防災活動	11 障害者・団体等への福祉活動
4 清掃、リサイクル等の環境保全活動	12 自社の空きスペース・遊休地の開放
5 自然保全活動	13 学校への協力 (講師派遣、職場見学、職業体験等)
6 防犯活動	14 特にない
7 交通安全活動	15 その他 ()
8 地域の子どもの見守り・育成活動	

問 19 貴社・事業所において、社会貢献活動(CSR活動等)を行うにあたって問題になることは何ですか。(2つまで○印)

1 人的な余裕がない
2 何をしたらよいかわからない
3 事故・補償の問題となる恐れがある
4 資金的な余裕がない
5 取り組む必要性やメリットが感じられない
6 社内に参加を希望する人がいない
7 特にない
8 その他 ()



Ⅷ. その他、市のまちづくりについてのご意見・ご提案について

問 20 最後に、企業・事業所のお立場から、今後の魅力あるまちづくりに向けたご意見・ご提案等について、お聞かせください。

ご協力ありがとうございました。

恐れ入りますが、令和6年8月30日(金)までにご回答ください。